



日耳鼻医会

FAXニュース

平成25年10月4日発行 第206号

「東京FORUM 2013」

台風18号の中 盛会裡に終わる

9月15日(日)より台風接近の中、第38回臨床家フォーラム「東京FORUM 2013」が開催された。

観光ツアーの「東京スカイツリー観光」は雨の中、予定通り行われ、スカイツリーの展望台より短時間ではあるが都内を見下ろすことが出来た。ゴルフコースは小金井カントリー倶楽部に参加予定者全員が集まったが、悪天候の為中止となった。

臨床家フォーラムは台風接近で参加者減が心配されたが、当日登録も50名あり、全体で210名の参加となった。

4題の分科会はそれぞれ内容も充実しており、活発な質疑応答が行われた。また、今回初めて企画した嚙下内視鏡検査講習会は70名の参加があり、耳鼻科医の関心の高さがうかがわれた。

分科会の後、懇親会が行われ、ジャズの演奏を聴きながらお互いの親交を深めていた。

翌16日(月・祝)は全体集会として3題の講演が台風の中、予定通り行われた。

フォーラムの閉会式で次回のフォーラムについて鈴木徹フォーラム担当副理事長より、今回と同様に連休を利用して9月14日(日)・15日(月・祝)に中国地方で開催するという案内があった。

(フォーラムの詳細は会誌「かがみ」に掲載予定)

「東京FORUM 2013」終了お礼

実行委員長 中澤 宏

副実行委員長 井藤博之・三谷幸恵

台風が東京を直撃すると言う予報にも拘らず、210名もの先生方に参加して頂きまして、実行委員一同心から感謝しております。そして先生方の熱意を感じるとともに、これがこれからの日本耳鼻咽喉科医会の団結力にもつながるものと考えております。

分科会、全体集会そしてスカイツリー観光も皆様のご協力により無事終わる事が出来ました。

今回初めて行いました嚙下内視鏡検査実習も予想をはるかに上回る参加者に恵まれ、実習会場も直前に変更すると言う、とても嬉しいハプニングもございました。

懇親会のジャズ演奏もとても懐かしい曲も多く、懇親の場をより盛り上げる事が出来たのではないかと考えており

ます。遠くに帰られる先生方のお足もとがとても気がかりでしたが、本当にありがとうございました。

◎高齢会員の会費の減免について

会員にも75歳以上の高齢者が増えてきているのを踏まえ9月16日の移動理事会で協議。「施行細則第7章 会費 第27条 理事長は、理事会の議を経て、会費を減免することができる。」に基づき平成26年度より次のようにすることが承認された。

1. 85歳以上の会員は会費を免除する
2. 75歳以上の会員は、会員の申し出により会費を半額とすることが出来る。

◎台風18号お見舞い

台風18号は各地に大きな被害をもたらしましたが、会員の中にも被害に遭われた方がおられました。紙面をかりてお見舞い申し上げます。

◎医会長協議会の案内

平成25年度医会長協議会を12月1日(日)午後0時半より東京八重洲富士屋ホテルで開催致します。参議院議員羽生田たかし先生に講演をお願いしています。改めて関係者にはご案内を差し上げますのでご出席下さい。

訃報

当会理事で前熊本県耳鼻咽喉科医会会長の地後井泰弘先生が9月21日午後お亡くなりになりました。74歳。通夜は9月22日、葬儀は23日、熊本市の玉泉院月出会館にて執り行われました。喪主は奥さまの地後井美智子様。先生のご冥福を心からお祈りし、謹んでお知らせ致します。

■消費税 来年4月8% 税率10%経済状況で判断

政府は1日の閣議で14年4月の8%への引き上げを決定した。安倍首相は会見で、経済成長と財政健全化は両立可能。消費増税の税収増は社会保障費だけに充当。12月に5兆円規模の経済対策・法人実効税率の引き下げを真剣に検討。10%への引き上げは経済状況を総合的に勘案し、判断時期含め適切に決断などと述べた。

(日経新聞10月2日)

■指導・監査を考える議員組織設置へ

石井参院厚労委員長

自民党の石井みどり参院議員(参院厚生労働委員長、歯科医師)は9月8日、岡山市で開かれた「指導・監査・処分改善のための健康保険法改正研究会」のシンポジウムで、指導・監査・行政処分について考える議員組織を発足させる考えを明らかにした。

石井氏は全国の歯科医師から「人間性を否定される」「どんなに医学的に説明しても理解してもらえない」「指導の対象にならないように、診療を抑制するしかない」など、指導・監査に対する苦情が集まっていると指摘。「健保法の改正は非常に難しいが、少しでも道筋をつくりたい」と述べ、議員間でこの問題を考えていきたいとした。指導・監査で保険医による弁護士選任権を明文化させることなどを視野に、法改正を目指すという。

日医インターネットニュース9月13日【メディアファクス】

■花粉症 夜悪化の仕組み解明

花粉症などのアレルギー疾患について、症状の出方が時間帯によって異なるメカニズムを、山梨大医学部の中尾篤人教授(免疫学)の研究チームが解明した。目や鼻、皮膚などの免疫細胞が、アレルギー反応を引き起こす物質の分泌量を、時間帯によって調整しているという内容で、マウスを使った実験で分かった。研究によると、体内時計は全身に存在する「クロック」というたんぱく質が関係するが、そのうち目の粘膜や鼻腔(びくう)内などの免疫細胞内にあるクロックが、アレルギー症状を悪化させる。クロックの働きが昼間は弱く夜間は強いいため、昼よりも夜の方が症状がひどくなるのだという。中尾教授は「点鼻薬や目薬の成分の中に、クロックの働きを弱めるような物質を加えられれば、眠気などの副作用の少ない新アレルギー薬の開発につながる」と期待を寄せ、現在、新薬開発に向けた研究も行っているという。(読売新聞 9月27日(金) 配信)



GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと Do more, feel better, live longer

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

アラミスト[®]点鼻液27.5μg 56噴霧用

Allermist[®] 27.5μg 56metered Nasal Spray フルチカゾンフランカルボン酸 エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先 TEL: 0120-561-007 (9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く) 〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル | FAX: 0120-561-047 (24時間受付)

2010.5

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228
HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail jimu@jenti.or.jp